

賀茂川の街灯設置

代表者 池添 真由美

企画概要 賀茂川に街灯が設置されれば、事故などの危険な場面が少なくなるだけでなく、夜の賀茂川が賑わい桜の季節には経済効果が期待できると予想される。また防犯の面からも暗い夜道を通る必要がなくなり、安全面での大きな効果が期待できると思われる。

結果報告 私たちグループは4年間という計画の下で賀茂川に街灯を設置しようというプロジェクトを進めてきましたので、このチャレンジはまだ現在進行中です。今までの活動内容として、星和電機株式会社への研修会、葵寮生に対してのアンケート調査、京都市役所の方への質問、上賀茂小学校へのアンケート協力依頼などです。

星和電機株式会社への研修で、街灯関係では特に、太陽光発電などグリーンエネルギーを使った街灯の設置などに関する有利な点、不利な点。街灯を設置することにより発生する事故。LEDの有効性。街灯を設置し、明るいと感じる明るさなどについて、知識を深めることができました。また、社内見学をさせて頂いている時に見せて頂いた、表示灯の大きさや、照明器具の試験設備などは、強く印象に残っています。星和電機さんの環境に対する関心の強さ。上からの一方的な仕事の割り当てだけでなく、下から上へと提案でき、作りたいものを作ることでできる、プロジェクト方式の採用。流れ作業が必ずしも最も効率のよい生産方式でないことを教えて頂いた、セル生産方式の採用など、私たちの学校での学習や、3年後に控えた就職活動にも通じるものもあり、大変すばらしい学習をさせて頂きました。

葵寮生に対してのアンケートでは予想していた回答数よりも少ない結果でしたが、そのほとんどが夜の賀茂川は暗く危険で、賀茂川に街灯は必要だという、私たちの活動を後押ししてくれるかのような内容のものばかりでした。アンケートにご協力頂いた葵寮生の皆さんに感謝します。

京都市役所の方へは京都の観光面に関する質問をしました。小泉首相が観光立国宣言をした今、京都では夜の観光資源に乏しいという事が指摘されているそうです。そこで京都の夜の新たな観光資源を創出し、京都の夜の観光の魅力アップに努めておられるようです。その夜の観光資源の1つに夜の賀茂川の散策が組み込まれるよう活動していきたいと思っています。

上賀茂小学校へのアンケート調査は、校長先生からのご連絡がまだないため行っていませんが、連絡が取れ次第開始予定です。先日、宇治小学校の事件があり、最近では“安全”がより一層重要視されてきています。私たちは、安全でかつ京都の観光資源の1つとなるような賀茂川を作って行きたいと思っています。

このプロジェクトを進めていく上で、たくさんの方々に出会い、アドバイスをくださり、色々な方々の様々な価値観を垣間見る事ができます。街灯を設置すること。それが最終目標ですが、私たちはたくさんの人と出会い、問題を解決していく事で必ずでっかい何かを得ることができるとと思っています。